



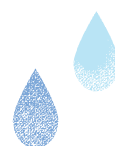
安威川ダム 最新レポート



地域の皆さまの多大な協力を得ながら、
長年にわたって進められてきた安威川ダム本体がまもなく完成。
この春から試験湛水※^{たんすい}がスタートされる予定です。
ダム建設のあゆみから今後の展開まで、最新情報をレポートします。

※試験湛水：治水計画上の最高水位まで水を貯め、その後、最低水位まで下降させ、
堤体や貯水池周辺斜面の健全性を確認する試験

問合先 北部整備推進課 ☎620-1609



100年に一度の
豪雨からまちを守る
安威川ダム

安威川ダムの構想が始まったのは昭和42年。きっかけは、同年7月に起こった北摂豪雨でした。安威川流域では過去に何度も水害が起こっており、この時も市内で約2万5,000の家屋に床上・床下浸水が発生するなど大きな被害が出ました。災害はまた起こるかもしれません。抜本的な治水対策として100年に一度の大雨でも、治水によってまちを安全に保つことのできるダムの建設が始まりました。完成すれば、時間雨量80ミリ程度かつ日雨量250ミリ程度を想定した洪水被害を防ぐことができます。

地域の皆さまの理解と協力のもと、平成26年から始まった大阪府施工のダム本体はまもなく完成します。本格稼働するのは令和5年度から。令和6年度には周辺施設もオープンする予定です。

Q どういうことができるの？

市街地といばきた(市北部地域)の中間にあたる地域に建設されています。新名神高速道路の茨木千提寺ICからわずか。市街地からも車で約20分と、交通アクセスが良く訪れやすい立地です。



オオムラサキ



フクロウ

Q 自然が破壊されない？

ダム周辺には約4,500種の動植物が生息。環境への影響を最小限にするために、貴重な動植物は影響区外へ移す取組みなどを行っています。また下流部の自然環境も、ダムに貯めた水を一時的に流す「フラッシュ放流※」によって維持していく予定です。

※定期的に人工的な川の増水を起こして元の川の環境に近づけようとする方法



特別天然記念物
オオサンショウウオ



準絶滅危惧種
オオタカ



コムラサキ
(保全対象種)



詳しくは
こちら

Q ダムについて もっと知れたかったら？

府安威川ダム建設事務所ホームページで、安威川ダムの役割や仕組み、これまでの取組みなどを紹介しています。

安威川ダムのあゆみ

昭和42年	北摂豪雨災害を契機にダム構想を立案
昭和51年	ダム建設に向けた調査に着手
昭和63年	ダム建設等の工事に着手
平成5年8月	付替道路工事に着手
平成7年3月	各自治会と「基本協定」の締結
平成11年3月	補償基準協定書の調印
平成17年8月	本格的な水没地等の用地取得に着手
平成17年8月	府の水源地計画変更
平成19年6月	安威川ダム利水機能を7万→1万㎡/日に縮小
平成21年8月	水没家屋等の代替地への移転を完了
平成21年8月	水需要予測の見直しにより、安威川ダムから利水事業が撤退
平成22年9月	付替道路茨木亀岡線の全区間供用開始
平成24年6月	国よりダム事業の検証の要請
平成24年6月	ダム事業の検証完了、国の対応方針決定
平成24年6月	《安威川ダムの事業継続》
平成26年3月	転流工事を発注
令和4年春	ダム本体工事を発注
令和5年度	ダム事業の認定が告示
令和6年度	ダム試験湛水予定
令和6年度	ダム供用開始予定
令和6年度	ダム周辺施設オープン予定

ダムをいかした
周辺スポットの
概要は
次のページで

ダムの
本体工事は府、
周辺整備は市が
主に取り組んで
います



北部整備推進課
柴田昌和

ダム周辺を茨木の新名所に!

遊びも癒しもいっぱい! 水と緑のリフレッシュ空間を計画中

安威川ダムは高速道路の出入り口からも市街地からも近い、全国でもめずらしい都市型ダム。
ダムによって生まれる湖を含めた周辺の自然をまるごと楽しめる茨木の新たな魅力スポットとして
整備する計画が進んでいます。関西エリアの新名所としても注目が集まりそうです。

CONCEPT

未来につなぐ美しい自然、創造と交流の湖畔の里
～北摂の自然と人の織りなす美・自然と人の新たな調和をめざして～

(交流・関わりの
促進) (学びの
機会提供) (地域経済の
活性化)

A

ダム湖上空エリア

ここならではの眺望が
楽しめるスカイウォーク

ダム湖の兩岸を結ぶ全長410m、長さ日本一の
歩行者用つり橋を設置し、ダム本体とダム湖、
晴れた日は大阪市街まで一望できるスカイウォー
クを整備。バンジージャンプなどアクティビティも。



B

ダム湖隣接平坦地エリア

つり橋をのぞめる広場がある
いばきたの玄関口

府道に面するアクセスの良さをいかし、いばきた
の情報発信や市民活動の拠点施設をオープン。
レストランやカフェ、特産品を販売するショップ
や芝生広場、イベント広場なども。





ダム湖上流 せせらぎエリア

せせらぎや自然歩道を いかした山遊び

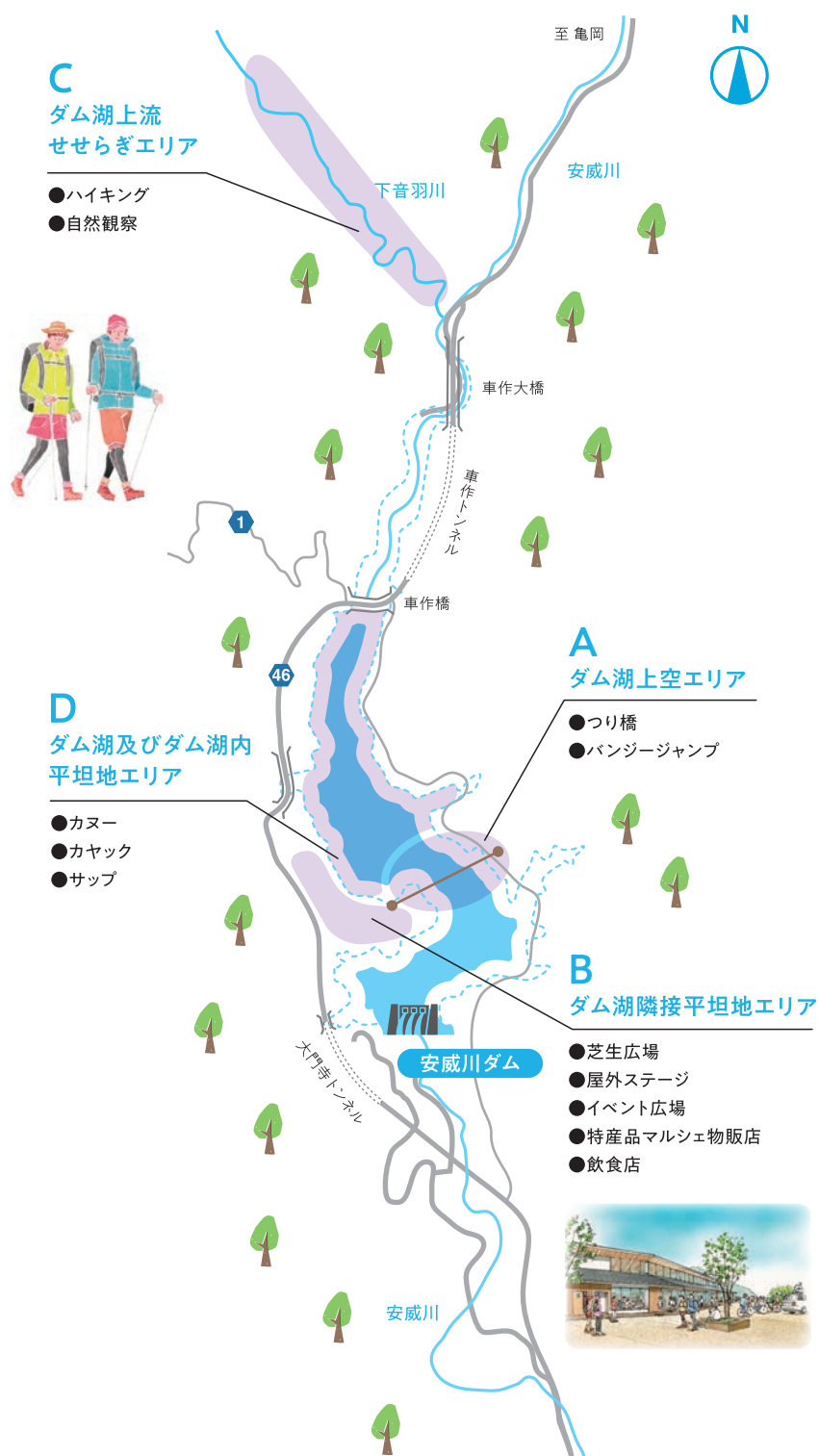
木々に囲まれた自然歩道や権内水路、下音羽川
のせせらぎなどに癒される落ち着いたエリア。
豊かな自然を体感できるハイキングツアーをは
じめとするプログラムを計画中。



ダム湖及びダム湖内 平坦地エリア

自然に囲まれた湖を遊ぶ 水上アクティビティ

ダム湖を活用し、緑に包まれた空間のなかでカ
ヌーやカヤックなど水と親しむ水上アクティビティ
が満喫できるエリアに。ボートデッキも整備予定。



山とまちをつなぐ
いばきたのハブ拠点に

安威川ダム周辺は、市街地と山間部の中間という立地をいかして、人・情報・文化が交流するハブ拠点として山とまちをつなぎ、茨木全体を活性化させていく役割も期待されています。ダム供用開始後の令和6年度にはダム周辺を交流・観光レクリエーションの場として、いばきたに新たな価値を生み出す新名所がオープンする予定です。

多彩なレジャーやイベント、地元のグルメを思い切り楽しんだり、自然の中でのもろもろ癒されたり。茨木の自然の豊かさを体感し、地域の人とふれあい、学び、訪れた人が改めて茨木を好きになるような発見がある。そして、地域の魅力をみんなでつなぎ、育てていけるような場となることをめざしています。



これまで、これからも。 ダム周辺の魅力をみんなと一緒に。

いばきたをさらに魅力あふれる地域へと発展させていくため、
安威川ダム周辺では以前から、地域の皆さんと一緒にさまざまな活動を行ってきました。
昨年末からはさらに、みんなの力で新名所をつくるための取組みもスタートしています。



これまでの取組みもいかした
魅力づくりを継続



ダムに、いばきたにふれあう機会をこれからも

地域と市街地の人と一緒に取り組んできた、安威川ダムと周辺エリアに親しむ活動や自然環境保全活動。
今後も、これまでの活動を基盤とし、人と自然が交流することで生まれる魅力づくりを行っていきます。



環境保全活動

地域の若い世代を中心に昨年発足した北部活性化支援グループ「RISE」が、安威川上流漁業協同組合などとともに竜仙峡の清掃・保全活動を実施。今後も活動の幅を広げ、関わる人を増やしていく予定です。



食育イベント

安威川ダム建設地の上流部にある竜仙峡で行われた「竜仙峡アウトドアクッキング」。お米や野菜、川魚といった地元産の食材を、大自然の中で調理して味わいました。



茨木の新しい特産品づくりをめざす取組みとして地元産の卵と蜂蜜を使った「山のカステラ」を開発（イベント時に販売）▼



安威川フェスティバル

安威川ダム ファンづくり会が主催する「安威川フェスティバル」は、平成26年から毎年開催。6度目となる令和元年には、安威川ダム建設地近くに約1,600名もの人々が訪れました。

※令和2年、3年は新型コロナの影響により中止



安威川ダムカレー&安威川ダムカード

安威川ダムのPRの一環として、市内の飲食店で「安威川ダムカレー」を展開。ダムの建設状況をカードにした「安威川ダムカード」も、府安威川ダム建設事務所などで配付中。

安威川ダムカレーの一覧は市ホームページで



▲安威川ダムカレーを注文する
とれなく「安威川ダムカレー
カード」がもらえる



安威川ダムカード



＜＜ 安威川ダムへのサイクリングなど、さまざまな情報を市のホームページで紹介中！

近隣にも いばきたをアピール

茨木千提寺PAイベントなどで さらなる魅力発信を

安威川ダムから車で約10分の場所にある新名神高速道路の茨木千提寺PAで、3月19日(土)、「茨木千提寺PAあおぞらキッチン」を開催。同日は、付近でマルシェイベントも(26ページ参照)。地元の農産物やテイクアウトグルメを販売し、いばきたに足を運ぶきっかけづくりをしています。



当日は茨木の飲食店・農産物販売所、キッチンカーなどが登場。徒歩でのみ市道からPA内に入場可。詳しくは市ホームページで



市民参加型の公園をつくる ワークショップが始動

こんなことしたい! を出し合って みんなの力で茨木の新名所をつくる

安威川ダム周辺に整備する公園づくりについて意見を出し合い、実際の設計に反映することをめざすワークショップが昨年12月に始動。大学生や主婦、事業者など、「いばきたを自分たちで盛り上げたい」という熱い想いを抱いた人たちが集まり、活発な意見交換が行われています。



第1回目参加者Voice 安威川ダムをこんな場所に!

親子で楽しめる遊び場
になると嬉しいです
(森下美穂さん)

自然をどう残し利用する
のか関心があります
(溝田基生さん)

日本一の長さとなるつり
橋を全国的に有名にし
たい!
(下峯裕輝さん)

子育て世代の声を反映
させ0歳~高齢者までが
交流できる場に
(佐藤恵さん)

バーベキューなどアウト
ドアで非日常を味わえる
場所に
(田中俊之さん)

外国人がお茶・太鼓など
を体験でき、市民が国際
交流できる場に
(石川亜紀子さん)

学生主催のイベントなど
学生の力を地域活性化
に生かしたい
(片桐美海さん)

理学療法士の視点でバ
リアフリーな場づくりに
携わりたい
(小阪広大さん)

老若男女が時間、場所を
共有できる外ヨガ教室を
したいです
(天方由美子さん)

生まれ育った場所の今後
に期待!地元住民も関わ
れる体験を
(木村晋之介さん)

安威川ダムで いばきたをより身近に

誰もが訪れたい場所になればと思っています。ここで生まれた交流から、みんなで安威川ダム周辺を、さらにいばきた全体を良くしようとする活動が生まれたいと思います。



各班でアイデアを付箋に書き出し、最後に発表してシェア

茨木市緊急対策

総額 7 億 581 万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯への市独自の支援と、小中学校における感染予防対策等の増額を図る補正予算(第10号)が、2月の市議会臨時会で可決されました。主な内容は以下のとおりです。詳細は右図読み取りからご確認ください。



子育て世帯への支援 / 小中学校における感染予防対策等

●児童手当における特例給付の所得要件に該当する世帯への子育て世帯臨時特別給付金の支給

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、18歳以下の子どもがいる世帯のうち、児童手当における特例給付の所得要件に該当する世帯に対し、給付金を支給する。(4億105万円) ※裏表紙参照

【対象】 次のいずれかに該当する人

- ①児童手当の特例給付受給世帯(令和3年9月分の支給世帯)
- ②児童手当受給者以外で、18歳以下の児童(平成15年4月2日～令和3年9月30日生まれ)を養育し、児童手当の特例給付の所得要件に該当する者
- ③令和3年10月1日～4年3月31日に生まれた児童の父母等のうち児童手当の特例給付の所得要件に該当する者

【支給額】 児童1人あたり5万円を、①3月中旬に支給(申請不要)、②③申請に基づき5月中旬以降に支給

【問合先】 こども政策課 ☎ 620・1625

●小学校給食費の無償化

小学生がいる世帯において、新型コロナウイルス感染症により生活・就労面等の影響が生じていることを踏まえ、小学校給食費を無償化する。(1億7,309万円)

【対象期間】 令和4年1月～3月

【問合先】 学務課 ☎ 620・1684

●小中学校での感染予防対策・学習保障の実施

小中学校での感染予防対策や児童・生徒の学習保障を図るため、学校施設の消毒に係る経費や、状況に応じて迅速・柔軟に対応するための交付金を各学校へ配分する。(7,023万円)

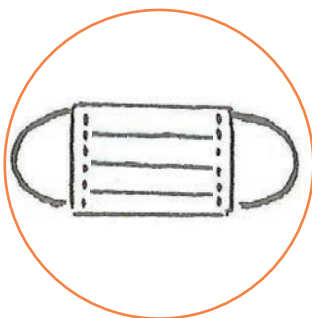
【問合先】 各学校への交付金＝教育政策課 ☎ 620・1680
消毒に係る経費＝学務課 ☎ 620・1684

— そのほかにも —

- ・民間学童保育室利用料の還付費用の補助
- ・私立認定こども園等の利用者負担額の減額に対応する施設型給付費負担金等の増額
- ・私立認定こども園等の副食費用減免に係る補助

ワクチン接種後も続けましょう 感染防止対策

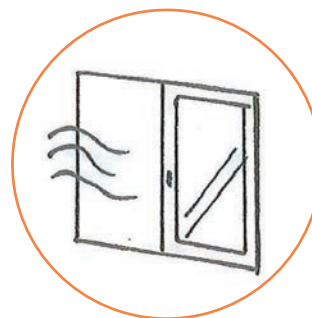
新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防できるとされていますが、接種後も感染しないわけではなく、他の人への感染をどの程度予防できるかは十分にわかりません。ワクチンを接種した人も接種していない人も、引き続きの感染予防対策(マスクの着用、手洗い、こまめな換気等)をお願いします。☎健康づくり課 ☎ 625・6685



不織布マスク着用



手洗い・消毒



こまめな換気